

啐啄同機



大阪市立榎本小学校

10月30日

NO、8

子どもの才能

皆さんは、コーヒー派ですか。紅茶派ですか。もしかすると緑茶が一番好きですか。

紅茶やウーロン茶、緑茶など、お茶には様々な種類があります。それらは、すべて同じツバキ科の木の葉から作られています！

1種類の葉っぱから、さまざまなお茶ができる秘密は発酵にあります。お茶の葉を発酵させないで生まれるのが緑茶、半発酵させるのがウーロン茶、完全に発酵させると紅茶になります。発酵の進み具合や加工方法によって、種類はさらに増えていきます。

このように1枚の葉は、様々なお茶になる可能性を秘めています。

人も同じではないでしょうか。様々なことに挑戦して努力を続ければ、実業家、芸術家、技術者、医師などあらゆる職業に就くことができ、その分野の第一人者になることができます。

「なぜ学校で勉強するのですか。」

学級開きで毎年クラスの子供達に問いかけていました。皆さんならどのようにお答えになりますか。

「人には必ず才能があります。どんな才能があるかが今は分らないだけです。学校では、いろんなことを勉強します。図工で絵を描いたり、体育でプール水泳をしたりといろんなことを学びます。いろんな体験をする中で、自分にある才能に気がつくのです。だから、何事にも一生懸命取り組みなさい。」

というような話をしていました。

子どもには無限の可能性があります。一つのことで成功しなくても落ち込むことはないということを伝えてあげてください。あなたの可能性は、お茶の葉と同じように、いやそれ以上に可能性があることを教えてあげてください。

今の自分がどのように変わるか。それは挑戦と努力の数で変わってくるのです。あきらめない限り可能性はあります。

有名な言葉があります。

「あきらめたらそこで試合終了ですよ。」



校長 篠崎 勇